

よもやま話に花が咲く。えきんぐらがお届けする小ネタ袋。

蔵通信 三十号

2012.5

発行：絵金蔵運営委員会
 発行日：2012年5月1日
 〒781-5310
 高知県香南市赤岡町538
 Tel./Fax 08-87-57-7117
 ekingura@mxii.net/wake.or.jp
 http://www.ekingura.com/

シリーズ
絵金百話
 第二十九話 覚悟見すべし!



INFORMATION

☆ 須留田八幡宮神祭

絵金の芝居絵屏風を飾る須留田八幡宮の夏祭り。にぎやかな絵金祭りとは違い、街灯の明かりが消された暗闇のなか、ゆらめく蠟燭が静かに芝居絵を照らす伝統の祭りです。ゆっくり絵を御覧になりたい方におすすめ。
*屏風絵十八点のうち、五点は修復のため展示されません。

日時 七月十四日(土)、十五日(日) 日没より
 場所 香南市赤岡町本町商店街
 駐車場 香南市商工会館・赤岡保健センター

☆ 第三十六回 土佐赤岡絵金祭り

今年も絵金祭りの季節がやって参りました。年に一度、この時に限り、赤岡町本町・横町の芝居絵屏風が各所蔵者の家の軒先に並びます。酒蔵開放ほか、屋台あり、歌あり、賑やかに、鮮やかに屏風絵が勢ぞろい! 是非、お越しください。
*屏風絵二十三点のうち、五点は修復のため展示されません。

日時 七月二十一日(土)、二十二日(日)
 場所 香南市赤岡町本町・横町商店街 屏風絵展示は
 駐車場 ポートピア土佐第二駐車場ほか 午後七時から九時まで
【お問い合わせ】絵金祭り実行委員会 〇八八七-五四-三〇一四 (香南市商工会内)

☆ 土佐絵金歌舞伎伝承会 歌舞伎公演

日時 七月二十一日(土)、二十二日(日) *絵金祭りの両日
 午後五時開演
 演目 浄瑠璃式三番叟、蘆屋道満大内鑑 葛の葉子別れ、
義経千本桜、道行の段

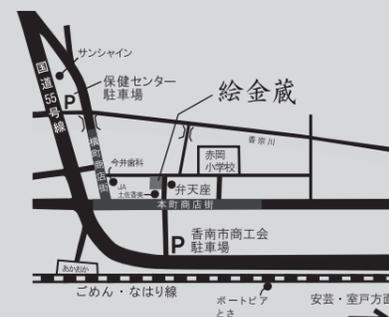
場所 弁天座(香南市赤岡町)
 料金 無料・全席自由
 交通 ごめん・なはり線「あかおか駅」より徒歩十分
 駐車場 香南市商工会・赤岡保健センターほか
 電話 弁天座(〇八八七-五七-三〇六〇)

香南市絵金生誕二百年記念事業

極彩の闇

【絵金蔵】

開館時間 午前9時～午後5時
 (入館は午後4時半まで)
 観覧料 大人500円 高校生300円
 小・中学生150円
 (15名以上の団体は各50円引き)
 休館日 毎週月曜日
 (月曜が祝日の場合は火曜)
 12月29日～1月3日



幕末土佐の芝居絵師・金蔵(通称・絵金)。彼は土佐各地の祭りに多くの芝居絵屏風を残しました。絵金蔵は、平成17年2月、赤岡の地に残る23点の芝居絵屏風を収蔵・保存するために作られた施設です。

絵金蔵の三つの使命

- 年一度 絵金の文化を守るため
- 伝承 次世代へ伝えるため
- 縁結び 地域を超えて 世代を超えて

絵金百話

第二十九話 覚悟見すべし!

かなでほんちゅうしんぐら おうぎがやつやかたのば
仮名手本忠臣蔵 扇ヶ谷館の場

< 概要 >

『仮名手本忠臣蔵』は寛延元年(1748)8月、大阪・竹本座にて時代物の人形浄瑠璃として初演されました。二世竹田出雲・三好松洛・並木千柳による合作で、『菅原伝授手習鑑』『義経千本桜』と並ぶ人形浄瑠璃全盛期の名作、忠臣蔵物の決定版とも言える作品です。元禄赤穂事件を下敷きに、忠義と人情の間で苦悩する赤穂浪士や彼らを取り巻く人間模様を描き、今日まで様々な演出で映画や舞台、ドラマなどに取り上げられてきました。

この場面の主役、伯州城主・塩冶判官は、塩冶の妻に言い寄ったうえに拒まれた腹いせに侮辱を続ける幕府執事・高師直のしうちに耐えかね、刃傷に及びます。師直の傷は浅いものでしたが館を騒がせた罪で、塩冶は切腹、お家断絶を言い渡されました。塩冶の家臣で家老の大星由良之助は、主君の遺言に従い、忠義の志が厚い浪士たちと仇討ちを決意、大星はその後、祇園に入り浸り遊蕩に耽る振りをして師直を油断させ、息子の力弥をはじめとする46人の浪士と共に討ち入りを決行、師直の首級を挙げ見事主君の無念を晴らす、という内容です。

『仮名手本忠臣蔵』を描いた芝居絵は全国的に数多く残されていますが、土佐でも絵金やその弟子たちによって数々の芝居絵が伝えられています。明治期には、小学校で芝居小屋を建てようという大論争があったほど土佐では盛んに地芝居が行われました※。絵金たちに芝居絵を注文したのは若衆組と呼ばれた若者たち、彼らは祭礼の担い手であり地芝居の中心的存在でもあったため、描かれた外題には彼らの好みが大きく反映されているものと考えられます。特に4段目は仇討ちの発端となる場面だけに様々なパターンで描かれており、土佐でも人気が高かったようです。

今回ご紹介する芝居絵屏風は、香南市の神社に奉納された作品です。ここには、野市絵金と呼ばれた絵金の弟子・野口左巖の手になる屏風絵も奉納されており、地区ごとに来栄えを競って奉納したという「えくらべ」を彷彿とさせる作品群が残されています。当時の若者組の祭礼や地芝居にかける情熱がここにも伝えられています。

本作品はやや線に硬さはみられるものの、塩冶判官の無念がにじみ出た表情、石堂右馬之丞の同情を秘めた面持ちや、斧九太夫の不敵な目つきなど、人物描写にみどころがあります。土佐っ子の熱意が詰まった芝居絵屏風を今回もどうぞお楽しみください。

※坂本正夫「土佐の農村舞台探訪」
(角田一郎編『農村舞台探訪』<和泉書院 1994年4月>収録)

平成24年9月30日(日)

記念式典

絵金の功績をたたえ、生誕二〇〇年を祝う式典を開催。絵金が御用絵師から町絵師となった顛末を土佐絵金歌舞伎伝承会により再現する創作歌舞伎公演も予定、ぜひご来場下さい。

内容・土佐絵金歌舞伎伝承会公演
『新絵金伝説』(仮称) 餅投げ等
場所・弁天座

平成24年3月9日(土)*絵金節翌日 17時開演予定

土佐琵琶で語る絵金の世界

詩人・郷土史家で絵金祭りでの語り部としても知られた故、近森敏夫氏作詞による「絵金」「信田妻」の演奏会を行います。

出演者・黒田月水(土佐琵琶奏者)
福原徹秋(篠笛奏者)
場所・弁天座

平成24年7月14日(土)・10月27日(土)

狐の嫁入り行列

絵金が生きた文化・文政年間頃、土佐では祭りの日、さまざまに仮装した人々の行列が出し物として人気を呼び、流行しました。そんな幕末の出し物になり、闇夜によぎる狐火のように、今年「狐の嫁入り行列」が町に現れます。狐に扮した実行委員会メンバーたちがチラシを携えて町を練り歩き、赤岡や高知城下で絵金生誕二〇〇年に関わる催しをご案内します。

7月14日 19時半より 赤岡町商店街
10月27日 時間未定 高知市追手筋・帯屋町周辺

平成24年3月

祭礼手帖発行

高知県下には芝居絵を飾る夏の祭礼が各地に残っています。地域の担い手が減るなか、今も十二カ所で氏子たちにより連綿と守り伝えられています。こうした地域の祭礼を訪ねていただくツールとして、『絵金生誕二〇〇年記念 一〇二二年度版 土佐芝居絵のある祭礼 案内手帖』を発行しました。県内外の公共施設ほか、各地に配布しています。



平成24年7月1日(予定)

高知絵金ガイドブック発行

初心者向けのガイドブックとして、小冊子『絵金生誕二〇〇年記念 高知絵金ガイドブック』を高知県立美術館と共同編集・発行、絵金や芝居絵屏風、祭礼を分かりやすく解説、各地の二〇〇年関連企画案内や交通情報も掲載、県内外各地で無料配布いたします。

平成24年7月(予定)

絵金資料調査報告書発行

絵金蔵ではこれまで約四年間にわたり、絵金とその弟子たちによる資料調査を行って参りました。その成果をまとめ、絵金研究の基礎資料として、調査報告書を発行、図書館や博物館等に配布致します。

〔絵金生誕二〇〇年関連 その他の企画展〕
物語る美術―所蔵作品による―

主催・高知県立美術館 会期中無休
平成24年6月9日(土)・7月16日(月・祝)

「物語」をキーワードに、絵金の屏風絵を含む日本画や洋画、彫刻など、さまざまなジャンルの所蔵作品を紹介。

絵師・金蔵 生誕二〇〇年記念

大絵金展―極彩の間―(仮称)

主催・高知県立美術館 会期中無休
平成24年10月28日(日)・12月16日(日)

今年秋、高知県立美術館にて十六年ぶりの大規模な絵金展が開催されます。科学分析による最新の研究成果を含め、約一八〇点の作品をダイナミックに紹介。

関連企画・土佐絵金歌舞伎公演*右頁参照

灯明ウォッチング 11月3日(土)

*同日全館無料&夜間開館
講演会、シンポジウム、ワークショップ
担当学芸員によるギャラリートーク

会期中毎週日曜、14時
「闇の中の魅惑魍魎(ちみもつりょこ)」「ちんなねえ」上映会などを予定

絵金生誕二〇〇年記念

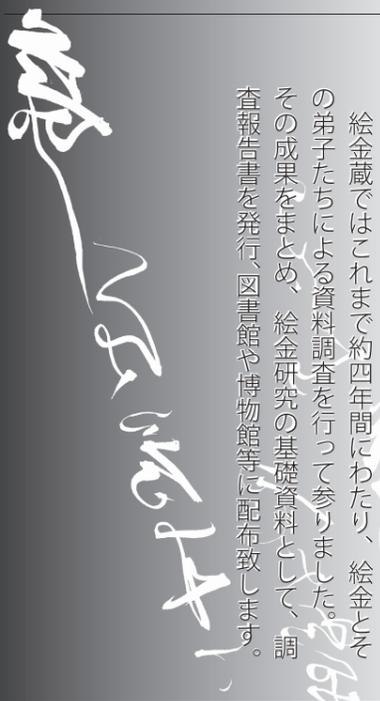
絵金とその時代展―闇からの伝承―

主催・香美市立美術館 会期中無休
平成24年11月10日(土)・12月16日(日)

香美市立美術館においても、香美市周辺の絵金作品や同時代の絵師の作品約三〇点を紹介。

関連企画・ギャラリートーク

11月10日(土)14時半、同25日(日)14時
12月9日(日)14時



描かれた 切腹



「扇ヶ谷館」の場面は土佐で最も多く描かれた画題のひとつ、絵金やその弟子たちが描いた芝居絵屏風や絵馬提灯が現在7点余りが確認されています。そのうちの一部を、ここでご紹介しましょう。

下の①・②はいずれも構図や人物の描き方が似通っています。例えば、後列右側にいる石堂馬之助は好人物で端正な顔立ちに上品な服装、その左側にいる薬師寺次郎左衛門は派手な柄に憎たらしい表情をあらわし

ています。左端にいる裏切り者・斧九太夫はここでは扇子を額に当てて思案顔…。

しかしよく見ると、衣の描き方や塩冶の妻顔世の有無など異なる点もあります。各地の絵描きたちがお手本に習いつつ工夫をこらしたのでしょうか。いずれにしても彼らが芝居の内容を熟知し、さまざまなバリエーションを生みだして注文主たちを喜ばせた姿が想像されます。



二曲一隻屏風 / 紙本着色
高知市朝倉・宮の前奥地区蔵

- ① 塩冶が腹を切った直後に到着した大星由良之助。なすすべなく、ただこの上は立派なご最期を、と伝える。



二曲一隻屏風 / 紙本着色
土佐市・個人蔵

- ② 腹を切り、遺言を残し首を掻き切った塩冶判官。苦しいさなか、形見の短刀手渡し、恨みを晴らせ、と言い残す。



絵馬提灯 / 紙本着色 / 高知県立美術館蔵

- ③ 事切れてうなだれる塩冶判官と、形見の品である刀を手に悲しみをこらえる大星由良之助。死んだかどうか確かめるように刀で小突く薬師寺を扇で制する石堂。

作法も伝授いたす!

江戸時代には切腹は洗練された儀式となり、介錯（切腹人に付き添い、切腹人の首を切り落としたり、検視役に首を見せるなど、切腹の補助を行う者）がつく切腹の作法が確立しました。実際に腹を切っただけでは非常に苦痛が伴い、死に至るまで時間がかかるため、江戸中頃にはいっそう形式化された形となりましたが、芝居絵のなかではいずれも塩冶が下記のような作法通り見事に腹を切り、遺言を残す劇的な場面として描かれています。

切腹の作法

- ① 衣服を寛げ、うつ伏せに倒れるように両袖を膝下に入れる。
- ② 短刀を逆手に取る。
- ③ 左脇腹に短刀を深く刺す。
- ④ 短刀を右へ引き回し、余裕があれば腸を掴みだす。
- ⑤ 右へ引き回した短刀を少し上に切り上げ介錯を頼む。

※切腹の作法には様々なものがありますが、新渡戸稲造『武士道』（岩波書店 1938年10月）・森鷗外『堺事件』（新潮社『阿部一族・舞姫』収録 1968年4月）を参考としました。

絵金生誕二百年 極彩の闇

— 記念事業のご案内

文化九年（一八一二）に生まれた絵金は、今年で生誕二〇〇年を迎えます。

香南市では「香南市絵金生誕二〇〇年記念事業実行委員会」を発足させ、屏風絵の所蔵家である赤岡絵金屏風保存会、さらに絵金蔵運営委員会、弁天座運営委員会、絵金歌舞伎伝承会、土佐赤岡絵金祭り実行委員会、香南市観光協会、香南市商工会などの団体が中心となり、さまざまな記念事業を行うこととなりました。

宵闇の中、ゆれる蝋燭の灯りのもとでこそ、絵金の芝居絵屏風は最も美しく輝きます。この機会に、地域に生きづく闇の意味を改めて見直すとともに、より多くの方に絵金の魅力に触れていただく年となれば幸いです。

平成24年7月3日（火）～22日（日） 絵金祭り特別展示ほか

絵金蔵では、例年絵金祭りに合わせて特別展示を行っています。本年度は白描展示・第一展示室での展示に加え、新たに設置する展示ケースにて、通常は公開されない作品を中心にご覧いただけます。どうぞお楽しみに！

◇絵金祭り特別展示
平成24年7月3日（火）～22日（日） 9～17時
*9日（月）・17日（火） 休館

◇夜間開館
平成24年7月14日（土）・15日（日） 須留田八幡宮宵神祭
21日（土）・22日（日） 絵金祭り
両日とも、18～20時

※臨時休館
平成24年6月11日（月）～25日（月）

開館より七年を経た本年、展示室の機能をより充実させるための施設改修を行います。絵金蔵一階蔵の「六」展示室には新たな展示ケースを設置、従来の常設展示に加え、より多彩な作品を間近に感じていただける空間作りを目指します。休館中で迷惑をおかけいたしますが、ご理解賜りますようお願い致します。

平成24年7月24日（火）～31日（日） 絵金—二〇〇年の想い—

絵金祭り以降も、新たに設置した展示ケースにてこれまで未公開であった絵金作品を中心に、絵金が作品に込めた想いを探り、所蔵家たちの想いを伝える展示を行います。

平成24年7月14・15日（土・日） 須留田八幡宮宵神祭 7月21・22日（土・日） 絵金祭り 第一回 えくらべ復活展

かつて高知県下各地では、若い衆が地区ごとに芝居絵屏風を注文・奉納、その出来栄を競いあっていた。芝居絵屏風を飾る祭礼は、彼ら民衆によって生み出されたともいえます。

本年、絵金祭りの宵闇にこの「えくらべ」が復活、日本画、漫画、写真など多彩なジャンルの現代作家による屏風作品、約十三点が絵金の芝居絵屏風と共に並びます。観客による投票も実施、ぜひご来場下さい。

会場 14・15日 絵金蔵前広場
21・22日 赤岡町商店街

平成24年7・11月 土佐絵金歌舞伎伝承会公演

平成五年より地歌舞伎の公演活動を行う土佐絵金歌舞伎伝承会の公演。本年は恒例の絵金祭りでの上演に加え、秋には「蝶花形名歌島台 小坂部館」（ちようはながためいかのしまだい こさかべやかた）が復活・初上演される予定です。本作の舞台は土佐、長宗我部家のお家騒動を中心とした物語で、幕末から明治にかけて、絵金やその弟子たちによって盛んに描かれましたが、長らく公演が途絶えていました。この機会に、ぜひご覧ください。

7月21・22日（土・日） 絵金祭り両日 17時開演予定
場所：香南市赤岡町・弁天座
11月11日（日） 17時開演
場所：高知県立美術館ホール
演目：「蝶花形名歌島台 小坂部館」
演目：「蘆屋道満大内鑑 葛の葉子別れ」他

